

平成20年5月30日

取組方針

荒木空調工業株式会社は、品質方針に基づき『顧客の期待とニーズに応えた技術とサービスを継続的に改善し、快適な居住空間の提供を図る』ことをモットーに、設備工事をしています。

また、当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指していきます。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動中での省エネルギーと省資源（紙使用量の節減・節水）
- ② 製造部門、事務部門における廃棄物の削減
- ③ 3S（整理・整頓・清掃）の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成20年5月 日

荒木空調工業株式会社

代表取締役社長 荒木 美那子

3 環境負荷の低減目標

21年に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも19年です。)但し、平成20年11月の目標値は21年の4割程度を目標とする。

【目標1】 二酸化炭素の総排出量を2%削減する

21年11月目標値

基準年の総排出量 44,758 (kg-CO ₂)	目標年の総排出量 43,862 (kg-CO ₂)
--	--

【目標2】 産業廃棄物の排出量を2%削減する

基準年の排出量 12,910 (kg)	目標年の排出量 12,651 (kg)
------------------------	------------------------

【目標3】 コピー用紙の使用量を3%削減する

基準年の使用量 16.4 (kg)	目標年の使用量 15.9 (kg)
----------------------	----------------------

【目標4】 水使用量を1%削減する

基準年の使用量 107 (m ³)	目標年の使用量 106 (m ³)
----------------------------------	----------------------------------

4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組1】 二酸化炭素排出量の削減

(工事部門での活動)

- ・ 必要以外時には、車のエンジンを切る
- ・ 作業効率の改善により残業時間を少なくする

(事務・営業部門での取組)

- ・ 事務室の空調温度を適正(冷房時28度、暖房時20度)に設定する
- ・ 昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する
- ・ パソコンとコピー機の節電機能を活用する
- ・ 社用車の効率的な使用(運転経路、相乗り)を徹底する
- ・ アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける
- ・ 車の空調温度を適正温度に設定する

【取組2】 廃棄物の適正管理と排出量の削減

（産業廃棄物）

- ・ 廃棄物の分別仕様を再検討し、置き場を整備する
- ・ 工事部門から発生する鉄・金属くずは全てリサイクルする
- ・ 廃棄物管理票（マニフェスト）の管理を徹底する
- ・ ウェス、軍手は使用限度を定め、無駄に廃棄しない

（一般廃棄物）

- ・ ごみの分別を徹底し、リサイクル・リユースに努める
- ・ 排出する廃棄物の重さを計り、記録する
- ・ 詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に選んで購入する
- ・ 製品をできるだけ長期間使用する

【取組3】 コピー用紙使用量の削減

- ・ 両面印刷、両面コピーを徹底する
- ・ 使用済み用紙の裏面を利用する
- ・ 書類、資料の電子データ化を進める

【取組4】 水使用量の削減

- ・ 配管からの漏水を定期的に点検する

【取組5】 その他の取組

- ・ 毎月、全社員による倉庫・現場内点検を行い、3Sを徹底する
- ・ 製品、材料、工具は、決められた場所に返却する
- ・ 社員による技術提案制度で、環境への取組についても提案を募集する

5 環境行動計画の実施体制

社長を委員長とする環境活動委員会を設け、四半期ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。